

テスト設計コンテスト

～2位じゃダメなんじゃないか～

テスト設計コンテスト

- ・コンテストの流れ
 1. はじめに
 2. テスト設計プレゼンテーション
 - ・テスト設計の説明 5分
 - ・質疑・コメント 4分
 - ・交代 1分
 3. 審査
 4. 表彰式
 5. 講評
 6. おわり

テスト設計コンテスト

- ・ どうしてテスト設計が必要なのか？

テストはやろうと思えばいつまでもできます。しかし、納期やコストなどの制約から実際の現場では最小限の労力で最大の効果が得られるように、具体的には下記3つを並立させるために、「テスト設計」というフェーズを持つ必要があります。

- ・ より少ないテストケースで
- ・ より多くのバグが見つかる
- ・ かつテスト対象を網羅する

テスト設計コンテスト

テスト設計はいつ行うの？



JaSST'11 Tokyo テスト設計コンテスト担当

テスト設計コンテスト

- ・ システムテストフェーズを想定し、以下の要求仕様書に基づいてテスト設計を行って頂きます

- ・ テスト対象
「話題沸騰ポット要求仕様書 (GOMA-1015型) 第7版」*1

*1: NPO法人 組込みソフトウェア管理者・技術者育成研究会 (SESSAME)様よりご提供頂きました
<http://www.sesame.jp/>

テスト設計コンテスト

- ・ 要求仕様に基づき、ご応募者それぞれの様式・粒度・方式を用いて「テスト設計」を行って頂きます
- ・ 設計意図を、ご応募者にご紹介頂きます
- ・ 発表頂いた作品の注目すべき点など、西 康晴氏、湯本 剛氏に質疑・コメントを頂きます

テスト設計コンテスト

- ・応募作品の評価観点
- ・既存の技法(マインドマップ、HAYST法ゆもつよメソッド、NGTなど)を用いた場合はその設計手法の活かされ度合い
- ・独自の技法を用いた場合はその発想新規性などを総合的に判断し大賞を決定します

テスト設計コンテスト

・特別賞
今回講評頂いたお二人から、惜しくも大賞を逃したもののどこかキラリと光る、
“ツボにはまった”テスト設計に、特別賞が授与されます

- ・西 康晴氏より「にし 賞」
- ・湯本 剛氏より「湯本 賞」